

日本の SDGs 達成度、スコアは改善も世界での順位は低下傾向

最新の SDGs 達成度ランキング¹が公開された。日本の順位は 165 カ国中 18 位と、2019 年の 15 位、2020 年の 17 位から 2 年連続で順位を下げており、同ランキングが初めて公開された 2016 年に並び最も低い順位である。2020 年に引き続きアジアでは 1 位を維持しているが、世界での順位は徐々に低下する傾向にある。ただし、達成状況を示す総合スコアをみると、日本のスコアは 3 年連続で少しずつではあるが上昇している。これは近年国内で SDGs に関する情報発信や SDGs への取り組みが活発してきたからであろう。とは言ってもその勢いは世界と比べて弱いということから、順位を落とす結果となったと考えられる。

さて、日本の SDGs 達成の足かせとなっている要因は何であろうか？

SDGs で掲げられている 17 目標のうち 2020 年に引き続き「大きな課題が残っている」とされているのは『目標 5: ジェンダー平等を実現しよう』『目標 13: 気候変動に具体的な対策を』『目標 14: 海の豊かさを守ろう』『目標 15: 陸の豊かさを守ろう』『目標 17: パートナーシップで目標を達成しよう』である。昨今日本において問題視されている男女平等に関する目標(目標 5)のほか、SDGs 目標達成への共創・協業などに関する目標(目標 17)の進捗は前年比「適度に改善」となっており、明るい兆しが見えつつある。一方で、陸上生態系保護・回復などに関する目標(目標 15)は後退した。当目標の評価項目を詳細にみると、とりわけ「生物多様性の保全に重要な陸地・淡水の平均保護面積」は前年の「目標達成している」というレベルから「大きな課題が残っている」に下がってしまった。

【日本のSDGs達成状況(2021年)】

目標1 貧困をなくそう	↑	目標10 人や国の不平等をなくそう	●●
目標2 飢餓をゼロに	★	目標11 住み続けられるまちづくりを	↑
目標3 すべての人に健康と福祉を	↑	目標12 つくる責任つかう責任	●●
目標4 質の高い教育をみんなに	↑	目標13 気候変動に具体的な対策を	→
目標5 ジェンダー平等を実現しよう	★	目標14 海の豊かさを守ろう	→
目標6 安全な水とトイレを世界中に	↑	目標15 陸の豊かさを守ろう	↓
目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	★	目標16 平和と公正をすべての人に	↑
目標8 働きがいも経済成長も	↑	目標17 パートナーシップで目標を達成しよう	★
目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう	↑		

注1: ●:目標達成している ●:課題が残っている ●:重要な課題が残っている ●:大きな課題が残っている

注2: ↑:目標達成に向けて順調、あるいは達成している ★:適度に改善 →:停滞 ↓:後退 ●●:不明

出典: The Sustainable Development Solutions Network (SDSN)『Sustainable Development Report 2021』より帝国データバンク作成

他方、帝国データバンクが 2021 年 6 月に実施した「SDGs に関する企業の意識調査 (2021 年)」によると、企業が現在力を入れて取り組んでいる SDGs の目標に関して、「目標 15: 陸の豊かさを守ろう」は 6.5%と前年の 4.9%から増加したものの 1 桁台にとどまっており、下から 4 番目に低い。さらに、当目標を今後最も取り組みたい項目とした企業の割合はわずか 0.9%にとどまり、最も低くなった。これらを踏まえると、大きな課題が残っているにもかかわらず進捗が後退傾向にあり、かつ国内企業の取り組む割合が低い陸上生態系保護・回

¹ The Sustainable Development Solutions Network (SDSN), Sustainable Development Report 2021

当コラムの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

復などに関する当目標は、今の日本にとって達成することが最も難しい目標であると考えられる。

「SDGs に関する企業の意識調査 (2021 年)」によれば、「SDGs に積極的」な企業は 2020 年時点での調査から 15.3 ポイント増の 39.7%と大きく増加しており、経済・社会活動に深く関わる民間企業の SDGs への関与が加速していることが見て取れた。今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、SDGs の重要性を認識できた例は少なくない。しかし一方で、SDGs を認知するようになったもののなかなか取り組む余裕がない企業も多いであろう。新型コロナウイルスの感染が収束し、企業活動の正常化が進むにつれて、日本の SDGs 達成度ランキングが大きく上昇することに期待が膨らむばかりである。

(とんとろ)